

【国語科】

国語表現

履修学科	普通科(未来創造コース、保育コース)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	国語表現(大修館書店)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	○小論文・レポート入門	○ 小論文の基本的な書き方を理解する。 ○ レポートの基本的な書き方を理解する。
	5		
	6		
前期 期末	7	○自己PRと面接	○ 事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。 ○ 調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。
	8		
	9		
後期 中間	10	○書いて伝える(2) ○声とコミュニケーション(2)	○ 図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ○ 話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。
	11		
	12		
後期 期末	1	○詩歌を楽しむ	○ さまざまな詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ○ さまざまな詩歌観賞をふまえて、表現を工夫しながら創作する。
	2		
	3		

評価の割合	考查点70% 平常点30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【国語科】

国語表現

履修学科	商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	国語表現（大修館書店）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	○書いて伝える ○小論文・レポート入門（1）	○ わかりやすく読みやすい、整った文章を書く能力を身につける。 ○ 小論文の基本的な書き方を理解する。
	5		
	6		
前期 期末	7	○小論文・レポート入門（2） ○自己PRと面接	○ レポートの基本的な書き方を理解する。 ○ 事実やできごとを踏まえて、「将来の自分」について文章にまとめる。
	8		
	9		
後期 中間	10	○メディアを駆使する ○声とコミュニケーション	○ 相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 ○ 聞くこと、話す事、伝え合う事を見つめ直し、コミュニケーションについて新たな発見をする。
	11		
	12		
後期 期末	1	○会話・議論・発表	○ 場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ○ 文章を読み、考えたことについて議論をしたり発表したりする。
	2		

評価の割合	考查点70% 平常点30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【国語科】

現代文B

履修学科	普通科(未来創造・保育)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	新編現代文B (教育出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	○随想 ○小説1	○随想に表れた筆者の心情やものを見る視点に関心を持ち、理解を深める。 ○文章の構成に着目して要旨を捉える。 ○登場人物の心理の変化と物語のヤマ場での思いについて、文の構成や展開、表現などを考え合わせながら総合的にとらえる。 ○主要な常用漢字の読み書きや語句の意味を理解する。
	5		
	6		
前期期末	7	○評論1 ○詩	○筆者の問題意識、具体例、考察といった論理の展開を読み取る。や論理の展開を読み取る。 ○詩の中のさまざまな形の表現や構成の技巧が、心情の表現にどのような効果をはたらかせているかを捉える。 ○登場人物の心理にかかわる地の文や、言葉のニュアンスの表現上の効果を読み味わう。 ○主要な常用漢字の読み書きや語句の意味を理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	○評論2 ○小説2	○論理的な文章を読んで、筆者の問題意識や着目点について考えを深める。 ○主要な常用漢字の読み書きや語句の意味を理解し、自らの書く文章の中で活かせるようにする。 ○小説文に描かれる主人公の生き方や、人間の運命について考えを深める。
	11		
後期期末	12	○小説3 ○評論3	○作品内容について考察し、テーマを読み取る ○主要な常用漢字の読み書きや語句も意味を理解する。 ○社会的な出来事を描いた文章を通じて、そこに生きる人間の姿を捉え、自らの意見をまとめる。
	1		

評価の割合	考查点 70%	平常点 30%			
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	使用する補助教材 ○国語常識：「プレゼミ総合国語」(浜島書店)				

【国語科】

現代文B

履修学科	普通科（進学コース） 商業科（進学ライセンスコース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	精選現代文B 新訂版（大修館書店）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	○評論（一）	○本文の論理展開を正確に理解する。 ○描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方を広げたり深めたりする。
	5	○小説（一）	
	6		
前期末	7	○評論（二）	○文章の構成や、段落相互の関係を読みとりながら、筆者の主張や内容を捉える。 ○表現技法を理解し、評論のおもしろさを感じとる。 ○登場人物の人間像、心情の推移を的確に把握する。
	8	○小説（二）	
	9		
後期中間	10	○評論（四）	○論理的な文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ○短歌・俳句独特の表現を学習し、基本的な鑑賞の態度、方法を身につける。
	11	○短歌・俳句	
学年末	12	○評論（五）	○文章の論理的な展開をたどりながら、筆者の問題意識をとらえ、自分の考えを深める。 ○登場人物の人間像、心情の推移を的確に把握する。
	1	○小説（三）	

評価の割合	考查点 70%	平常点 30%			
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	使用する補助教材 ○国語常識：「プレゼミ総合国語」（浜島書店）				

【国語科】

現代文B

履修学科	商業科(情報ビジネスコース)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	新編現代文B (教育出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	○随想 ○小説1	○随想に表れた筆者の心情やものを見る視点に関心を持ち、理解を深める。 ○文章の構成に着目して要旨を捉える。 ○登場人物の心理の変化と物語のヤマ場での思いについて、文の構成や展開、表現などを考え合わせながら総合的にとらえる。 ○主要な常用漢字の読み書きや語句の意味を理解する。
	5		
	6		
前期期末	7	○評論1 ○詩	○筆者の問題意識、具体例、考察といった論理の展開を読み取る。 ○詩の独特のリズムや修辞技巧などの特徴を捉える。 ○主要な常用漢字の読み書きや語句の意味を理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	○小説2 ○評論2	○主要な常用漢字の読み書きや語句の意味を理解し、自らの書く文章の中で活かせるようにする。 ○場面の展開を踏まえて登場人物の心理を的確に読み取り、どのような人物として描かれているかを考える。 ○論理的な文章を読んで、筆者の問題意識や着目点について考えを深める。
	11		
後期期末	12 1	○小説3 ○評論3	○作品内容について考察し、テーマを読み取る ○主要な常用漢字の読み書きや語句も意味を理解する。 ○社会的な出来事を描いた文章を通じて、そこに生きる人間の姿を捉え、自らの意見をまとめる。

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	使用する補助教材 ○国語常識：「プレゼミ総合国語」(浜島書店)				

【国語科】

現代文B

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	精選現代文B 改訂版(大修館書店)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	○随想	○筆者や文中に登場する人物の行動や心理を読みとりながら、人間、社会、自然などについて自分の考えを深める。 ○描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方を広げたり深めたりする。
	5	○小説(一)	
	6		
前期 期末	7	○評論(一)	○文章の構成や、段落相互の関係を読みとりながら、筆者の主張や内容を捉える。 ○表現技法を理解し、評論のおもしろさを感じとる。 ○詩的言語のはたらきを理解させ、言語感覚を磨く。
	8	○詩歌	
	9		
後期 中間	10	○評論(二)	○論理的な文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ○評論を読むことをとおして言語に対する認識を深める。 ○登場人物の人間像、心情の推移を的確に把握する。
	11	○小説(二)	
学年 末	12	○評論(三)	○文章の論理的な展開をたどりながら、筆者の問題意識をとらえ、自分の考えを深める。 ○論筆者の主張やその展開のしかたなどをとらえ、それに対する自分の考えをまとめる。 ○評論を読むことに興味をもち、筆者の感じ方、考え方を論理的に理解する。
	1	○評論(四)	

評価の割合	考查点 70%	平常点 30%			
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	使用する補助教材 ○国語常識：「プレゼミ総合国語」(浜島書店)				

【国語科】

古 典 A

履 修 学 科	美術・デザイン科
履 修 学 年	第3学年
履 修 形 態	選択
履 修 単 位	2単位
教 科 書	高等学校改訂版標準古典A（第一学習社）

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前 期 中 間	4	【古文編】 ○説話	○古典の内容を展開に即して的確にとらえる。 ○昔の言葉と現代の言葉とのつながりを理解する。 ○古典の語句の意味、文の構造を理解する。 ○物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞できる能力を養う。
	5	○随筆	
	6	【漢文編】 ○逸話	
前 期 期 末	7	【古文編】 ○歴史物語	○分奏に現れた人間や社会に対する考え方を読み取り、理解を深める。 ○作者の人物像についての認識を深め、心情を読み取る。 ○詩人たちの人生観や自然観について認識を深める。
	8	○日記	
	9	【漢文編】 詩文	
後 期 中 間	10	【古文編】 ○物語（1）	○文章に表れた人間の考えや感情を読み取り、もの見方、考え方を深める。 ○文学作品を鑑賞する能力を高める。 ○世界史で学習した事柄との繋がりを理解する。 ○さまざまな人間の生き方についての考えを深める。
	11	【漢文編】 ○『三国志』	
後 期 期 末	12	【古文編】 ○俳諧 ○物語（2）	○古典の言葉に示されたもの見方を理解する。 ○古典の内容を展開に即して的確に理解する。 ○作品に表れる作者の社会観、自然観を読み取り、自己の感じ方や考え方を豊かにする。
	1	【漢文編】 ○物語	

評価の割合	考查点70% 平常点30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
	4 小テスト	○	○	○	○
留意事項					

【国語科】

古 典 B

履 修 学 科	普通科（進学コース・私立文系）
履 修 学 年	第3学年
履 修 形 態	必修
履 修 単 位	2単位
教 科 書	精選古典B改訂版（大修館書店）

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前 期 中 間	4	【古文編】 ○説話	○古典の内容を展開に即して的確にとらえる。 ○古典の語句の意味、文の構造を理解する。 ○物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞できる能力を養う。
	5	○随筆	
	6	【漢文編】 ○逸話と寓話	
前 期 期 末	7	【古文編】 ○物語（1）	○分奏に現れた人間や社会に対する考え方を読み取り、理解を深める。 ○作者の人物像についての認識を深め、心情を読み取る。 ○詩人たちの人生観や自然観について認識を深める。
	8	○日記	
	9	【漢文編】 ○漢詩	
後 期 中 間	10	【古文編】 ○物語（2）	○文章に表れた人間の考えや感情を読み取り、もの見方、考え方を深める。 ○文学作品を鑑賞する能力を高める。 ○世界史で学習した事柄との繋がりを理解する。 ○さまざまな人間の生き方についての考えを深める。
	11	【漢文編】 ○思想一諸子百家	
後 期 期 末	12	【古文編】 ○評論 ○近世の小説・浄瑠璃	○古典の言葉に示されたもの見方を理解する。 ○古典の内容を展開に即して的確に理解する。 ○物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞できる能力を養う。
	1	【漢文編】 ○小説	

評価の割合	考查点70% 平常点30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	使用する補助教材 ○漢文：「新徹底理解高校漢文」、「新徹底理解高校漢文ワーク」（東京書籍） ○古文：「新精選古典文法」、「新精選古典文法演習ノート」（東京書籍）				

【国語科】

国語探究

履修学科	普通科(進学コース・私立文系、私立理系)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「基礎から学べる！文章カステップ」 (公益財団法人 日本漢字能力検定協会)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	【文章カステップ 文章検定4級対応】 第1章 語彙・文法 第2章 資料分析 第3章 文章読解	○文章を読み書きする上で必要な語彙・文法・表記などの力を養う。 ○資料を分析し、他者が発信する情報を正確に読み解き、発信者の意図を見抜く基礎的な力を養う。 ○多様な文章や図表などをもとに、複数の情報を統合・構造化して考えをまとめる基本的な力を養う。
	5		
	6		
前期末	7	【文章カステップ 文章検定3級対応】 第1章 語彙・文法 第2章 資料分析 第3章 文章読解	○第1章、第2章については夏期課題として前期中間考査からの学びを継続し、文章を読み書きする上で必要な語彙・文法・表記などの力を養う。 ○資料を分析し、他者が発信する情報を正確に読み解き、発信者の意図を見抜く力を養う。
	8		
	9		
後期中間	10	【文章カステップ 文章検定3級対応】 第2章 資料分析 第3章 文章読解	○資料を分析し、他者が発信する情報を正確に読み解き、発信者の意図を見抜く力を養う。 ○多様な文章や図表などをもとに、複数の情報を統合・構造化して考えをまとめる力を養う。
	11		
後期末	12	【文章カステップ 文章検定4級対応】 第4章 手紙文	○手紙文の形式を理解し、適切な表現・表記を習得する。 ○手紙文の推敲のポイント、仕方を理解する。 ○敬語の基本知識を理解する。
	1	【文章カステップ 文章検定3級対応】 第4章 手紙文	

評価の割合	考查点70% 平常点30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	○文章能力検定を受検し、4級ないしは3級の合格を目指す。				

【地歴公民科】

世界史 A

履修学科	普通科, 商業科, 美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「世界史A」(東京書籍)

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 世界史へのいざない	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校社会科で学んだ日本列島の歴史をもとに、日本と世界のつながりについて振り返る。 ・中国を中心とする東アジア、一神教の聖地である西アジア、そしてヨーロッパの歴史を整理し、古くから交流しあってきたことを学ぶ。
	5 第1部 近・現代世界史の背景	
	6 序章 古代文明の成立 第1章 ユーラシアの諸地域世界	
前期末	7 第2部 成熟するアジアと世界へむかうヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代に続く西欧諸国の世界各地への進出、支配の展開という形で、真の意味での世界の一体化が始まる背景を理解する。 ・市民革命や産業革命による近代化がアメリカ大陸やアジア世界など、多くの地域にも影響を与えたことを理解する。
	8 第2章 アジア諸帝国の繁栄とヨーロッパ	
	9 第3章 大西洋世界の変容とその波及 第4章 産業化社会の拡大と成熟	
後期中間	10 第5章 アジア諸国の変貌と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアの近代がヨーロッパの進出によって始まったことを理解する。 ・産業革命の広がりや植民地獲得競争の激化による欧米の帝国主義の動きに対する民族の自由と自決を求める民族主義(ナショナリズム)の動きを理解する。
	11 第3部 現代の世界と日本 第6章 帝国と民族の時代	
後期末	12 第7章 二つの世界大戦の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの世界大戦の原因や政治・経済・国際関係の変遷についての的確な整理と理解を深める。 ・大戦後の冷戦構造、植民地からの独立と第三世界の勢力・発展について現代の問題点との関係を理解する。
	1 第8章 冷戦と民族独立の時代	

評価の割合	筆記テスト70% 平常点(下記評価)30% 計100%				
考査の実施	前期中間・期末、後期中間・期末(年4回)				
平常点の評価(30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			○
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・明解世界史図説エスカエリの副読本を用いる。 ・各コース担当者で進捗調整を行う場合もある。 				

【地理歴史科】

地理 B

履修学科	普通科
履修学年	第3学年（進学文系）
履修形態	選択
履修単位	3単位
教科書	新詳地理B（帝国書院）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	3章 人口，村落・都市	世界の人口について，その分布の特徴や動態，人口構成や人口転換を考察する。 生活文化について，衣食住の分布や地域的差異と世界的な画一化を考える。
	5	4章 生活文化，民族・宗教	
	6		
前期期末	7	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察	世界の諸地域について，多面的・多角的に考察し，諸地域が抱える地理的な諸課題を探究し，その解決の方向性や将来の国土のあり方などについて展望する。
	8	1章 現代世界の地域区分	
	9	2章 現代世界の諸地域	
後期中間	10	2章 現代世界の諸地域	地誌の考察方法について，多様な事象を項目ごとに整理して考察したり，対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較したりする方法があることを理解する。
	11		
後期期末	12	3章 現代世界と日本	学習活動を通して，その解決の方向性や将来の国土のあり方などについて展望する。 学習成果を踏まえて，世界的諸課題の解決にむけて，主体的に取り組む人材となるための地理的教養を身につける。
	1	課題演習	
	2	生徒の進路に応じた個別指導	
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	新詳高等地図、新詳地理Bノート(以上帝国書院)の副読本ならびに演習課題を用いる。				

【公民科】

政治経済

履修学科	普通科, 商業科, 美術・デザイン科
履修学年	第2・3学年
履修形態	必修(2年普進学文系, 商進学ライセンス, 情報ビジネス/3年普通科, 美術・デザイン科)
履修単位	2単位
教科書	最新政治・経済(実教出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第1編 現代の政治 第1章 現代国家と民主政治	<ul style="list-style-type: none"> 人権保障、国民主権、法の支配など、民主主義の原理やその発展について理解させる。 日本国憲法の成立過程をふまえ、憲法の三大原理を把握させる。
	5	第2章	
	6	日本国憲法と基本的人権	
前期期末	7	第2章 日本国憲法と基本的人権	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法における基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	第3章 日本の政治制度と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> 国会、内閣、裁判所さらには地方自治など日本の統治機構に関する理解を深め、またその課題について考察させる。
	11		
	12		
後期期末	1	第3章 日本の政治制度と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> 日本の政党政治や選挙制度の特質を把握させるとともに、望ましい政治や参政のあり方について考察させる。 国際社会や国際法に関する基本的な理解を深め、国連をはじめ国際機関の役割について考えさせる。
	2	第4章 現代の国際政治	
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			○
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項					

【公民科】

政治経済

履修学科	普通科、商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必修(3年普進学文系, 商進学ライセンス)
履修単位	2単位
教科書	最新政治・経済(実教出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容 第2章 現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義や社会主義という経済体制の特質を理解させ、その変容を概観する。 市場のはたらきや国民所得、景気変動など経済の基本的事柄に対する理解を深化させる。
	5		
	6		
前期期末	7	第2章 現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> バブル崩壊と金融、財政の課題などを理解させ、租税の意義も考えさせる。
	8		
	9		
後期中間	10	第3章 現代の日本経済と福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> バブルとその崩壊後の不況という現状に至る日本経済の流れを追い、経済成長や景気変動、金融・財政政策という理論的既習事項を現実の歴史の中で具体的に把握させる。
	11		
	12		
後期期末	1	第3章 現代の日本経済と福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> 公害や労働関係、社会保障といった日本経済が直面する課題について理解し、今後の展望について考察させる。
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			○
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項					

【数学科】

数学Ⅱ

履修学科	普通科（保育・未来創造）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	数学Ⅱ Standard（東京書籍）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 1 整数の指数 2 累乗根	<ul style="list-style-type: none"> 指数を整数から有理数に拡張しても累乗が定義でき、指数法則が成り立つことを理解する。 指数関数のグラフの特徴と性質を理解し、指数関数のグラフを利用して、実数の大小比較や方程式、不等式を解くことができる。 対数の定義や性質を理解し、簡単な式の値を求めることができる。 指数関数の性質と関連づけながら、対数関数の性質について理解を深め、そのグラフの特徴と性質を理解する。
	5	3 有理数の指数	
	6	4 指数関数とそのグラフ 2節 対数関数 1 対数とその性質 2 対数関数とそのグラフ	
前期期末	7	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 1 平均変化率	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数や導関数の意味について理解させ、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができるようにする。 微分法を用いて、接線の方程式を求めることができる。
	8	2 微分係数	
	9	3 導関数 4 導関数の計算 2節 導関数の応用 1 接線の方程式	
後期中間	10	2 関数の増減	<ul style="list-style-type: none"> 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形を書くことができるようにする。 グラフの概形を利用して、方程式の解や不等式の証明など、微分の考えを事象の考察に活用することができるようにする。
	11	3 関数の極大・極小 4 関数の最大・最小 5 方程式・不等式への応用	
学年末	12	3節 積分 1 不定積分 2 定積分	<ul style="list-style-type: none"> 不定積分及び、定積分の意味について理解し、不定積分や定積分を求めることができるようにする。 定積分を用いて、直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができるようにする。
	1	3 定積分と面積	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【数学科】

教養数学

履修学科	普通科（保育・進学文系）、美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修（保育・進学文系） 選択（美術・デザイン科）
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	数学 I 1 数と式 2 2次関数	教材：「数学 I ・ A 基本問題精選」 （中部日本教育文化会） ・ 数学 I において、基礎から標準的な問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。
	5		
	6		
前期期末	7	数学 I 3 図形と計量 4 データの分析	・ 数学 I において、基礎から標準的な問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。
	8		
	9		
後期中間	10	数学 A 1 場合の数 2 確率	・ 数学 A において、基礎から標準的な問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。
	11		
	12		
学年末	12	数学 A 3 整数の性質 4 図形の性質	・ 数学 A において、基礎から標準的な問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。
	1		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	数学的な見方や 考え方	数学的な技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【数学科】

数学探究 A

履修学科	普通科（進学理系・看護医療）
履修学年	第3学年
履修形態	必修（看護医療）選択（進理）
履修単位	3単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など		
前期中間	4	数学 I 1章 数と式・2次方程式 2章 2次関数 3章 図形と計量 4章 集合と論証 5章 データの分析	教材：「攻略!共通テスト PickUp128 数 I A II B」 （東京書籍） ・数学 I において、基礎から標準レベルの問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。		
	5				
	6				
前期期末	7			数学 A 6章 場合の数と確率 7章 整数の性質 8章 図形の性質 数学 II 9章 方程式・式と証明	・数学 II A において、基礎から標準レベルの問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。
	8				
	9				
後期中間	10	10章 図形と方程式 11章 三角関数 12章 指数関数・対数関数	・数学 II において、基礎から標準レベルの問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。		
	11				
学年末	12			13章 微分と積分 数学 B 14章 数列 15章 ベクトル	・数学 II B において、基礎から標準レベルの問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。
	1				

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【理 科】

物 理

履修学科	普通科（進学理系、特進理系）
履修学年	第3学年（2年次から継続履修）
履修形態	選択
履修単位	4単位
教科書	「物理」（東京書籍）
副教材	「Let's Try Note」（東京書籍）

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前期中間	4	第3編 波 1章 波の性質	<ul style="list-style-type: none"> 波の伝わり方とその表し方について理解する。またホイヘンスの原理、反射・屈折および屈折率について理解する。 音の回折と干渉について理解する。 光の反射、屈折、分散、偏光、速さ、波長などについて観察、実験を通して理解する。 光の回折と干渉について理解する。
	5	2章 音	
	6	3章 光	
前期末	7	第4編 電気と磁気 1章 電界と電位	<ul style="list-style-type: none"> 電荷が相互に及ぼし合う力や電界（電場）の表し方について理解する。 摩擦帯電などの実験、電界の様子の観察などを通して、電荷が相互に及ぼし合う力、電気量の保存、電界の性質、電気力線について理解する。 コンデンサーの性質について理解する。
	8	2章 電流	
	9		
後期中間	10	3章 電流と磁界	<ul style="list-style-type: none"> 電流がつくる磁界について理解を深める。 中学校での学習を発展させ、電流が磁界から受ける力について理解を深める。 交流について理解を深め、交流回路のインピーダンス等について理解する。
	11	4章 電磁誘導と電磁波	
学年末	12	第5編 原子 1章 電子と光	<ul style="list-style-type: none"> 電子の電荷と質量について理解する。 原子の構造とボーアの原子モデルから、原子が出す光のスペクトルと電子のエネルギー準位の関係について理解する。 クォークとレプトンなどの素粒子の存在、および基本的な力について理解する。
	1	2章 原子と原子核	
	2	終章 物理学が築く未来	
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 問題集「Let's Try Note」を各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げること。 				

【理科】

化学基礎

履修学科	美術デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「新版化学基礎新訂版」(実教出版)
副教材	「アクセスノート化学基礎」(実教出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第1章 物質の構成 第1節 物質の探究	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の分離・精製や元素の確認などの実験を通して、単体・化合物及び混合物について理解する。 ・原子の構造及び電子配置と周期律との関係を理解する。 ・粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解する。
	5	第2節 物質の構成粒子	
	6		
前期末	7	第2章 物質と化学結合 第1節 イオン結合	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。 ・金属結合及び金属の性質を理解する。 ・共有結合を電子配置と関連づけて理解する。また、分子からなる物質の性質を理解する。
	8	第2節 共有結合と分子間力	
	9	第3節 金属結合	
		第4節 化学結合と物質	
後期中間	10	第3章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> ・物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。 ・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 ・酸と塩基の性質を理解する。また、酸・塩基の強弱と電離度の大小についても理解する。
	11	第2節 酸と塩基	
後期末	12	第3章 物質の変化 第2節 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> ・水素イオン濃度とpHの関係を理解する。 ・中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。 ・酸化と還元が電子の授受によることを理解する。 ・酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解する。
	1	第3節 酸化還元反応	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 ・教科書準拠の問題集「高校化学基礎カーノート」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。 				

【理科】

化学

履修学科	普通科進学コース（私立理系・看護医療系）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	「新版化学新訂版」（実教出版）
副教材	「アクセスノート化学」（実教出版）

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期 中間	4 第4章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物は、官能基ごとに似た性質をもつため、官能基によって分類されることを理解する。 脂肪族炭化水素の構造や性質，反応を知る。 酸素を含む脂肪族炭化水素の分類，性質，反応を理解する。
	5 第2節 脂肪族炭化水素	
	6 第3節 酸素を含む脂肪族炭化水素	
前期 期末	7 第4節 芳香族化合物	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物の化学式を決定するための一連の手順を学ぶ。 芳香族炭化水素の性質，反応などを理解する。 糖類，アミノ酸，医薬品，染料などに利用される有機化合物について学ぶ。
	8 第5節 有機化合物と人間生活	
	9	
後期 中間	10 第5章 高分子化合物 第1節 高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> 高分子化合物の分類と特徴について理解する。 糖類，タンパク質，核酸について、その構造，性質，存在例などを理解する。
	11 第2節 天然高分子化合物	
後期 期末	12 第3節 合成高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> 合成繊維，合成樹脂について、その代表的な物質の構造，性質，利用例などを理解する。 繊維，プラスチック，合成ゴムについて、その特徴や利用例などを理解する。
	1 第4節 高分子化合物と人間生活	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 教科書準拠の問題集「アクセスノート化学」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。 				

【理科】

化学

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年（2年次から継続履修）
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	高等学校化学（第一学習社）
副教材	スタディノート化学

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 第IV章 有機化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物は、官能基ごとに似た性質をもつため、官能基によって分類されることを理解する。 ・脂肪族炭化水素の構造や性質，反応を知る。
	5 第1節 有機化合物の特徴と構造	
	6 第2節 脂肪族炭化水素	
前期末	7 第3節 酸素を含む脂肪族炭化水素	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素を含む脂肪族炭化水素の分類，性質，反応を理解する。 ・芳香族炭化水素の性質，反応などを理解する。 ・糖類，アミノ酸，医薬品，染料などに利用される有機化合物について学ぶ。
	8 第4節 芳香族化合物	
	9 第5節 有機化合物と人間生活	
後期中間	10 第V章 高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子化合物の分類と特徴について理解する。 ・合成繊維，合成樹脂について、その代表的な物質の構造，性質，利用例などを理解する。
	11 第1節 合成高分子化合物	
後期末	12 第2節 天然高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・糖類，タンパク質，核酸について、その構造，性質，存在例などを理解する。 ・機能性高分子，合成ゴムについて、その特徴や利用例などを理解する。
	1 第3節 高分子化合物と人間生活	
	2 3	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年 4 回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 ・教科書準拠の問題集「スタディノート」は、各自予習復習に用い、考查前には3回転以上やり遂げていること。 				

【理科】

生物

履修学科	普通科(未来創造・進学文系)
履修学年	第3学年(2学年から継続履修)
履修形態	必修(進学文系), 選択(未来創造)
履修単位	2単位(2学年で2単位)
教科書	「改訂 生物」(第一学習社)
副教材	「セミナー生物」(第一学習社)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第3編 生物の環境応答	<ul style="list-style-type: none"> 植物ホルモンの作用によって、頂芽優勢、果実の成熟、落葉・落果が起こることを理解している。 光受容体の性質と光形態形成の関係について関心をもち、意欲的に理解しようとする。 受容器は特定の刺激のみを受容して感覚が生じることに関心をもち、積極的に理解しようとする。
	5	第5章 生物の環境応答	
	6	1. 植物の環境応答 2. 動物の環境応答	
前期期末	7	3. 動物の行動	<ul style="list-style-type: none"> かぎ刺激によって生得的行動が生じることに関心をもち、意欲的に学習しようとする。 動物や植物の個体群にみられる密度効果について関心をもち、理解しようとする。 環境形成作用によって多様な種が共存する環境が提供されることを理解しようとする。
	8	第4編 生態と環境	
	9	第6章 生物群集と生態系 1. 個体群と生物群集 2. 生態系の物質生産	
後期中間	10	3. 生態系と生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> 生態系における物質の生産と消費の関係を理解している。 生物多様性の3つのとらえ方を理解している。 塩基配列や染色体の構造や数に変化が生じることで形質に変化が現れることに関心をもち、積極的に理解しようとする。
	11	第5編 生物の進化と系統 第7章 生物の進化 1. 進化のしくみ	
後期期末	12	2. 生物の起源と生物の変遷	<ul style="list-style-type: none"> 原始地球の環境や化学進化に関心をもち、意欲的に学習しようとする。 種の表し方に関心をもち、理解しようとする。 原生物界、植物界、菌界、動物界の系統関係を理解しようとする。
	1	第8章 生物の系統	
	2 3	1. 生物の分類の変遷と系統 2. 生物の系統関係	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年 4 回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 教科書準拠の問題集「セミナー生物」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。 				

【理科】

生物

履修学科	普通科(特進, 進学理系, 進学看護系)
履修学年	第3学年(2学年から継続履修)
履修形態	必修(特進文系, 進学看護系) 選択(特進理系, 進学理系)
履修単位	4単位(2学年で2単位)
教科書	「改訂 生物」(第一学習社)
副教材	「セミナー生物」(第一学習社)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第2編 生殖と発生 第4章 生殖と発生 3. 動物の発生	<ul style="list-style-type: none"> 配偶子の形成過程を理解しようとする。 卵割と体細胞分裂の細胞周期の違いに関心を持ち、意欲的に理解しようとする。 中胚葉誘導や神経誘導のしくみを理解している。 細胞の全能性に関心を示し、理解しようとする。 被子植物の配偶子形成と重複受精に関心を持ち、理解しようとする。
	5	4. 動物の発生における形態形成のしくみ	
	6	5. 植物の発生	
前期末	7	第3編 生物の環境応答 第5章 生物の環境応答 1. 植物の環境応答	<ul style="list-style-type: none"> 植物ホルモンの作用によって、頂芽優勢、果実の成熟、落葉・落果が起こることを理解している。 光受容体の性質と光形態形成の関係について関心を持ち、意欲的に理解しようとする。 受容器は特定の刺激のみを受容して感覚が生じることに関心を持ち、積極的に理解しようとする。 試行錯誤による学習に関心を示し、理解しようとする。
	8	2. 動物の環境応答	
	9	3. 動物の行動	
後期中間	10	第4編 生態と環境 第6章 生物群集と生態系 1. 個体群と生物群集	<ul style="list-style-type: none"> 動物や植物の個体群にみられる密度効果について関心を持ち、理解しようとする。 環境形成作用によって多様な種が共存する環境が提供されることを理解しようとする。 生態系における物質の生産と消費の関係を理解している。 生物多様性の3つのとらえ方を理解している。
	11	2. 生態系の物質生産 3. 生態系と生物多様性	
後期末	12	第5編 生物の進化と系統 第7章 生物の進化 1. 進化のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ウマを例に、生息環境に適応して進化することを理解している。 原始地球の環境や化学進化に関心を持ち、意欲的に学習しようとする。 種の表し方に関心を持ち、理解しようとする。 原生生物界, 植物界, 菌界, 動物界の系統関係を理解しようとする。
	1	2. 生物の起源と生物の変遷	
	2	第8章 生物の系統 1. 生物の分類の変遷と系統 2. 生物の系統関係	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物(プリント、ノート等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したノートのまとめをしっかりと行い、プリントもきちんととること。 教科書準拠の問題集「セミナー生物」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。 				

【理 科】

地学基礎

履修学科	普通科, 商業科
履修学年	第3学年(普通科進学コース看護医療系、商業科)
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「高等学校改訂地学基礎」(第一学習社)
副教材	「ネオパルノート地学基礎」(第一学習社)

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前期中間	4	第1章 宇宙における地球 第1節 宇宙の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の広がりや銀河の分布を学習し、宇宙の大規模構造について理解する。 ・太陽のエネルギー源や太陽の表面現象について学習し、太陽の構造について理解する。 ・太陽系の構造と誕生について学習し、太陽系がどのように形成されたのかを理解する。
	5	第2節 太陽	
	6	第3節 太陽系の中の地球	
前期期末	7	第2章 活動する地球 第1節 地球の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の層構造を学習し、表面と内部の性質の違いを理解する。 ・火成岩のおもな造岩鉱物の特徴を学習し、火成岩の分類について理解する。 ・地震のおこるしくみと震源断層の規模と位置について学習する。
	8	第2節 火山活動と地震	
	9		
後期中間	10	第3章 移り変わる地球 第1節 地層や岩石と地質構造	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の働きと地層の形成について学習する。 ・化石のでき方および示相化石と示準化石を学習する。 ・相対年代と絶対年代について学習し、地質年代表について理解する。
	11	第2節 地球環境と生物界の変遷	
後期期末	12	第5章 地球の環境 第1節 地球環境の科学	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の温暖化について学習する。 ・気団や季節風、日本の天気の特徴を理解する。 ・大気の組成、大気の圧力、大気圏の構造を学習する。 ・緯度によるエネルギー収支を学習し、大気の大循環について理解する。
		第2節 日本の自然環境	
	1	第4章 大気と海洋 第1節 地球の熱収支	
		第2節 大気と海洋の運動	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年 4 回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 ・教科書準拠の問題集「ネオパルノート地学基礎」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。 				

【理科】

理科探究

履修学科	普通科（進学コース私立理系）
履修学年	第3学年
履修形態	選択
履修単位	2単位
副教材	「改訂地学基礎」（第一学習社） 「改訂生物基礎」（第一学習社） 「新版化学基礎新訂版」（実教出版）
副教材	「ネオパルノート地学基礎」（第一学習社） 「プログレス生物基礎」（第一学習社） 「アクセス化学基礎」（実教出版） 「ニューステージ地学図表」（浜島書店）

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 第4章 植生の多様性と分布 第1節 植生と遷移	<ul style="list-style-type: none"> 植生は不変ではなく、長期的には移り変わっていることを学習する。 バイオームの概念を理解する。 生態系の構成について理解する。 人間活動が生態系にさまざまな影響を与えていることを理解する。
	5 第2節 バイオームとその分布	
	6 第5章 生態系とその保全 第1節 生態系 第2節 生態系のバランスと保全	
前期期末	7 第3章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> 物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 酸化・還元の定義を理解し、知識を身に付けている。
	8 第2節 酸と塩基	
	9 第3節 酸化還元反応	
後期中間	10 第5章 地球の環境 第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球の温暖化について学習する。 気団や季節風、日本の天気の特徴を理解する。 大気の組成、大気の圧力、大気圏の構造を学習する。 緯度によるエネルギー収支を学習し、大気の大循環について理解する。
	11 第4章 大気と海洋 第1節 地球の熱収支 第2節 大気と海洋の運動	
	12 大学入試問題演習	
後期期末	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> センター試験や私立大学二次試験の過去問を中心に実践的な問題演習を行い、「生物基礎」・「化学基礎」・「地学基礎」の内容の理解を深めるとともに、大学入試問題への対応能力を高める。

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年 4 回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物(プリント、ノート等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 教科書準拠の問題集「ネオパルノート地学基礎」, 「プログレス生物基礎」, 「アクセス化学基礎」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。 				

【保健体育科】

体 育

履修学科	普通科・商業科・美術デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	アクティブスポーツ 2021

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 体づくり運動 集団行動 選択授業 バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動の中で約束や決まりを守り、機敏的確に行動することを身に付ける。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。
	5 バレーボール	
	6 バasketボール ソフトボール	
前期期末	7 選択授業 バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。
	8 バレーボール	
	9 バasketボール サッカー	
後期中間	10 選択授業 バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。
	11 バasketボール サッカー（ソフトボール） 軽スポーツ	
学年末	12 選択授業 バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。
	1 バasketボール サッカー（ソフトボール） 軽スポーツ	

評価の割合	授業内でのテスト 70% 考查点/平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
留意事項	「生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する能力の育成」「健康の保持増進のための実践力の育成」及び「体力の向上」をねらいとする。				

【芸術科】

音楽探究

履修学科	普通科
履修学年	第3学年（保育コース）
履修形態	必履修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月	項目	ねらい・教材など	
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽探究」学習のためのガイダンス、アンケート ・歌唱 ・キーボードアンサンブル 練習 テスト ・楽典（昨年度の復習） ・楽典小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までの進捗や進路希望の確認
	5		<ul style="list-style-type: none"> ・声によるハーモニーを作り、感じ取る
	6		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「ぐるぐるピアノ」 ・復習を通して知識として定着させる。プリント学習など
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱 ・ピアノ実技 練習およびテスト ・楽典（関係調、転回形など） ・楽典小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の作曲家の作品に触れる
	8		<ul style="list-style-type: none"> ・課題の確認
	9		<ul style="list-style-type: none"> ・演奏や解釈等に必要な楽典を学ぶ
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカル映画鑑賞（感想文提出） ・発表会に向けて(連弾)(選曲、練習) ・童謡の練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカルに触れ、制作の舞台裏や表現力等を学ぶ
	11		<ul style="list-style-type: none"> ・3年間のまとめとしての発表会 ・童謡のレパートリーとして練習
学年末	12	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会（発表） ・童謡（テスト） ・鑑賞（感想文提出） ・まとめのレポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間取り組んできたことの集大成として実施（人前で発表する経験をする）
	1		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽が関わっている映画を鑑賞し、内容について深く考える。
	2		<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の取り組みと成果など振り返る
	3		

評価の割合	実技テスト／小テスト80% 平常点20%				
考査の実施	なし				
平常点 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題等提出	○	○	○	○
留意事項	ピアノ実技は前年度からの続きから始めます。 実技の取り組み具合が評価に大きくかかわります。				

【外国語科】

コミュニケーション

英語 II

履修学科	普通科（未来創造・保育）、商業科（情ビ）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	All aboard! Communication English II (東京書籍)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	Lesson 6 A Microcosm in the Sea	教材：「英単語ターゲット 1200」（旺文社） 「英単語ターゲット 1200 Workbook 3」 「All aboard! Communication English II ワークブック」 ① 環境破壊の進むグレートバリアリーフの現状に注意を向け、環境保護について考える。 ② 地元の人々のためにできることを考える。③ if 節、関係代名詞、知覚動詞の用法を理解する。
	5		
	6	Lesson 7 Happiness through Hula	
前期期末	7	Lesson 8	① 結衣が旅行中にジョーンズ先生、ジャック、ソフィーに宛てて書いたメールを読む。イギリスの風景やそこに住む人々の生き方などを通じて、外国に興味を持ったり、自分の住んでいる土地について考える。関係副詞の意味と用法を理解する。
	8	Magic of the Cotswolds	
	9		
後期中間	10	Lesson 9	① カカオの生産と、西アフリカにおける児童労働に関する現状を理解し、1つの解決策であるフェアトレードシステムについて考える。使役動詞の意味と用法を理解する。
	11	The Bitter Truth about Chocolate	
学年末	12	Lesson 10	① 地雷の数が多くあるアフガニスタン出身のデザイナーが「デザイン」の視点からその問題を考えることで、地雷問題への関心をさらに深める。分詞構文の意味と用法を理解する。
	1	Designing for Peace	

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・学年末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への指示等はできるだけ英語で行い、コミュニケーション的な発話を促す。 生徒が英語を発する活動をできるだけ増やし、英語使用への動機づけを行う。 英単語帳を使用し、語彙数を増やす。 				

【外国語科】

コミュニケーション

英語Ⅱ

履修学科	商業科(進ラ) 美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	WORLD TREK II(桐原書店)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	Lesson 6 Racing toward Your Dreams	教材：「英単語ターゲット 1200」 「英単語ターゲット 1200 Workbook3」 「WORLD TREK II Workbook」 「WORLD TREK II 学習ノート」 ①プロのレーサーになるまでの動機や、その後の困難を理解する。S+V+C(that)、形式主語、形式目的語の用法を理解する。
	5		
	6		
前期期末	7	Lesson 7 The Origins of Halloween	①世界的な行事であるハロウィーンの成り立ちを理解し、見聞を広げる。関係代名詞と関係副詞の違いを理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	Lesson 8 Helping People through Robots	①ロボットの活躍の可能性を理解する。分詞構文の種類や、with を使った状態の表現を理解する。
	11		
	12		
後期期末	1	Lesson 9 Snowflake Bentley	①ベントレーが雪の結晶を見つける経緯を綴った伝記を読み深める。仮定法の種類を理解し、活用できるようにする。
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が英語を発する活動をできるだけ増やす。 英単語帳を使用し、語彙数を増やす。 				

【外国語科】

コミュニケーション

英語Ⅲ

履修学科	普通科(進学－文理看)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	「WORLD TREK Ⅲ」(桐原書店)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	Reading Focus ①～⑦ Lesson 1 Emma Watson	教材：「WORKD TREK Ⅲ Workbook」 「System 英単語 Basic」 ① エマ・ワトソンの悩みと、それを乗り越えて現在に至る過程を読む。長文読解の方法を理解する。 ②なぜ私たちはペットを飼うのか、列挙されている理由に注目して読む。文章構造を理解する。
	5		
	6	Lesson 2 Why Do We Have Pets?	
前期期末	7	Lesson 3 The History of the Croissant	① クロワッサンの歴史について時間的順序を表す語句に注目しながら読む。
	8		
	9		
後期中間	10	Lesson 4 Is “Free” the “Best” Trade?	②自由貿易について、農業国を工業国との比較を通じて基本的な理解を得るとともに、その問題点を読む。
	11		
後期期末	1	Lesson 5 Experiments in Space	①宇宙で行われている様々な実験がどのような問題を解決しようとしているかを読む。

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	・3年間の総仕上げとして、単語や文法、長文の読解までを毎時間の授業にテーマを与えながら計画性を持って実力の養成に取り組んでいく。				

【外国語科】

英語探究 C

履修学科	普通科（未来創造、保育進学）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	ACTIVE LESSON 英文法編 中部日本教育分科会

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	Unit 1 be 動詞 Unit 2 一般動詞① Unit 3 一般動詞②	「ACTIVE LESSON 英文法編」 (1)基礎的な事項の復習をしながら、高校範囲の基礎的な事項の習得を図る。 (2)動詞の基本活用を習得し、表現できるようになる。 (3)時制を理解し、出来事の順序を正しく表現できるようにする。
	5	Unit 4 進行形 Unit 5 未来形	
	6	Unit 6 助動詞	
前期期末	7	Unit 7 命令文・感嘆文 Unit 8 疑問詞 Unit 9 代名詞	(4)形容詞の3つの比較変化を理解し、適切に選択することができる。 (5)受け身が使われる場合を理解し、動詞の過去分詞の習得に努める。 (6)動詞が名詞や形容詞などの他の品詞に代わって働くことを理解する。
	8	Unit10 比較 Unit11 受け身	
	9	Unit12 不定詞①	
後期中間	10	Unit13 不定詞② Unit14 動名詞・分詞 Unit15 it の用法 Unit16 現在完了形 Unit17 関係代名詞	(7)感覚を表す動詞に注意して、文の構成を理解することができる。 (8)完了形が使われる3つの意味合いを理解し、過去分詞の習得に努める。 (9)名詞を修飾する方法を理解し、習得する。
	11		
後期期末	12	Unit18 前置詞 Unit19 接続詞 Unit20 いろいろな文 Unit21 会話に特有の表現 Unit22 長文読解	(10)2つの語や2つの文をつなぐ様々な接続詞について整理する。 (11)英文の構造を整理し、英語の感覚を身につける。 (12)会話で使用される表現を理解し、使用できるようにする。
	1		

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な英文法を復習し、4技能の向上を含めて進めていく。 基礎力の定着を図ることで、身の回りのことを表現できる力を養う。 				

【外国語科】

英語探究C

履修学科	普通科（進学－文理看）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	英文法ワークショップ

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期 中間	4 (1)高校レベル英単語	(1)システム英単語 Basic ・単語テストは定期的に行う。
	5 (2)英文法ワークショップ 文の種類、動詞と文型、時制、完了形、 助動詞、受動態	(2)英文法ワークショップ ・高校基礎レベルの事項の復習をしながら、 受験範囲の文法事項の習得を図る。
	6	
前期 期末	7 (1)高校レベル英単語	(1)システム英単語 Basic ・単語テストは定期的に行う。
	8 (2)英文法ワークショップ 不定詞、動名詞、分詞	(2)英文法ワークショップ ・高校基礎レベルの語彙を習得することによ って、読解問題に対応する基礎力を固め る。
	9	
後期 中間	10 (1)高校レベル英単語	(1)システム英単語 Basic
	11 (2)英文法ワークショップ 比較、関係代名詞、関係副詞	(2)英文法ワークショップ ・英語を理解し、表現するための文法力や運 用能力の育成を図る。 ・頻出構文の理解と定着を図る。
後期 期末	12 (1)高校レベル英単語	(1)システム英単語 Basic
	1 (2)英文法ワークショップ 仮定法、否定、接続詞、代名詞、前置詞	(2)英文法ワークショップ ・中堅私大レベルの内容に対応できる基礎力 を固めることを目標とする。
	2	
	3	

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評 価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	・単語テストは年間を通して行う。 ・実力模試や英検等に対応できる力を養うような内容であるため、予習・復習をきちんと行うこと。				

【外国語科】

英語総合

履修学科	普通科（進学・文）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	1単位
教材	Pair&Share

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	(1) Lesson1 Morning (2) Lesson2 Breakfast	教材：「Pair&Share」、その他プリント類 ・各場面を想定した会話表現に取り組むことで、実践的な会話能力を身につける。 ・英単語を継続して覚えていくことで、基礎力の向上を図る。 ・スピーキングテストを行う。
	5	(3) Lesson3 Going to school	
	6	(4) Lesson4 Waiting for the Train	
		(5) Lesson5 In the Classroom	
前期期末	7	(1) Lesson6 P.E Class (2) Lesson7 Lunch Time	・国際理解を目的としたグループワークなどを取り入れることで、言語だけでなく文化的背景を理解できるようにする。 ・スピーキングテストを行う。
	8	(3) Lesson8 Health Check	
	9	(4) Lesson9 Word Quiz	
		(5) Lesson10 Art Class	
後期中間	10	(1) Lesson11 Cleaning Time (2) Lesson12 After School	・自分たちでオリジナルの場面設定などを行い、発表するなどして表現力を広げる。 ・ペアワークを活用し、ロールプレイなどに取り組む。
	11	(3) Lesson13 Soccer Club (4) Lesson14 On the Way Home	
		(5) Lesson15 Getting Ready for Dinner	
後期期末	12	(1) Lesson16 Cleaning Up (2) Lesson17 Watching TV	・年間のまとめとして、自分がどのような力が付いたかなどを振り返る。 ・小テストなどの結果を確認し、弱かった部分などを復習させる。 ・スピーキングテストを行う。
	1	(3) Lesson18 Studying	
		(4) Lesson19 Bath Time	
		(5) Lesson20 Bed Time	

評価の割合	考查点 80% ・ 平常点 20% （考查点のうち筆記試験とスピーキングテストの割合は50%ずつとする。）				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解的な内容も扱うことで、学習に対するモチベーションを高める。 ・会話表現をできるだけ多く活用し、実践的コミュニケーション能力を高める。 ・オリジナルの場面設定などを自分たちで考えさせるなど、自発的な思考や取り組みを向上させる。 ・適宜スピーキングテストを行い、表現力を養う。 				

【教科情報】

社会と情報

履修学科	普通科（未来創造、進学コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	最新 社会と情報 新訂版 実教出版

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	1章 情報社会と私たち 1. 情報社会 2. 情報とメディア 3. 情報モラルと社会のルール	<ul style="list-style-type: none"> 情報や社会の意味、特徴について学ぶ 情報の残存性、複製性、伝播性など情報社会における情報の特徴について学ぶ 社会の情報化に伴い生じる問題について考え、理由と対処法について学ぶ
	5 6	----- 3章 表現と伝達 1. 表現の工夫	
前期 期末	7	2章 情報機器とデジタル表現 1. 情報機器とデジタル 2. デジタル表現	<ul style="list-style-type: none"> 情報機器の仕組みについて学ぶ アナログとデジタルの意味、情報量の単位について学ぶ ネットワークを活用したコミュニケーションの特徴と性質を学ぶ
	8 9	4章 コミュニケーションとネットワーク 1. コミュニケーション ----- 3章 表現と伝達 2. 表計算ソフトの利用	
後期 中間	10	4章 コミュニケーションとネットワーク 2. ネットワーク 3. 情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークおよびインターネットの仕組み等について学ぶ 情報セキュリティについて学び、コンピュータウイルスに対する知識を身につける 身近な情報システムの仕組みと働きについて学ぶ
	11 12	5章 情報社会と問題解決 1. 情報システムと人間 ----- 3章 表現と伝達 2. 表計算ソフトの利用 3. プレゼンテーション	
後期 期末	1	5章 情報社会と問題解決 2. 問題解決 3. 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程を理解・学習する Webページについて学ぶ
	2 3	----- 3章 表現と伝達 3. プレゼンテーション	

評価の割合	考査 60% 実技および平常点 40%				
考査の実施	前期期末考査、学年末考査				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 定期考査		○	○	○
	2 学習ノート等	○	○	○	○
	3 課題提出	○	○	○	○
	4 小テスト		○	○	○
	5 実技課題	○	○	○	○
留意事項	使用する補助教材 30時間でマスターOffice2019 情報I学習ノート				

【家庭科】

子ども文化

履修学科	普通科・保育コース(子ども教育系)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「子ども文化」(教育図書)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	・子ども文化とは何だろう	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものための文化活動、児童文化財、児童文化施設などの重要性について理解する。 ・年中行事について理解し、それに関わる行事の由来や意味を学ぶ。 ・子どもの遊びの重要性及び遊びの種類と発達の関りについて理解する。
	5	・子どもと年中行事	
	6	・子どもと遊び	
前期期末	7	・子どもと表現活動	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の意義と特徴について学ぶ。 ・保育検定の内容を理解し取り組む。
	8	・保育教材制作	
	9	・保育検定	
後期中間	10	・子どもと文学 紙芝居・絵本	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に素話や絵本の読み聞かせを行い、実践力を養う。 ・子どもの表現活動の意義とそれを支える児童文化財の重要性について学ぶ。
	11	・子どもと表現活動	
	12	・保育教材制作	
後期期末	1	・児童文化のための施設	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健全な遊びや表現活動を支える府代表的な施設を取り上げ、その意義と活用について理解する。
	2	・保育教材制作	
	3		

評価の割合	考查点 70% 実技点・平常点 30%				
考查の実施	前期中間・学年末				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト			○		
留意事項	全国高等学校家庭科 保育技術検定				

【家庭科】

保育実習

履修学科	普通科・保育コース
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	・オリエンテーション (保育実習の目的と意義・2年次の復習)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方、実習内容を理解する。 ・児童施設について学び、見学を通し施設の役割を理解する。 ・校内の畑を利用し、幼児と一緒に季節の野菜
	5	・児童福祉施設見学	
	6	・実習 (サツマイモ栽培) ・リトミック	
前期期末	7	・幼稚園、保育所(園)の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園と保育所(園)の違いを理解する。 ・教育者としての心構えを理解する。 ・幼児との実習を通し行事の由来を理解する。 ・日常生活でのまな一を身につける。
	8	・実習	
	9	・リトミック	
後期中間	10	・実習	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫したもので調理を行い、食を通し子どもの食生活の現状を理解するとともに、自己の食生活を見つめ、食事の持つ意味を考える。 ・現代の食生活の問題点について考える。 ・サツマイモの収穫を乳幼児と行う。
	11	・児童施設との交流	
	12	・リトミック	
後期期末	1	・親子関係について	<ul style="list-style-type: none"> ・親の役割を知り、現在の親子関係についての問題点を学ぶ。 ・障害のある子供への理解。 ・社会人になるための心得
	2	・障害児と健常児について	
	3		

評価の割合	課題評価(考査含む) 80% 平常点 20%				
考査の実施	前期中間・期末・学年末				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○		○	○
	3 課題提出	○	○	○	○
	4 小テスト	○		○	
留意事項					

【保育】

音楽・リズム表現

履修学科	普通科・保育コース（子ども教育系）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	・歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の基礎を学ぶことで、幼児教育者に必要な歌唱の基礎技術を身に付ける。 ・音を聞き、それを感じて体を動かし音楽を学ぶ方法で、創造性や想像性を身に付ける。
	5	・鍵盤奏	
	6	・弾き歌い	
前期期末	7	・歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・楽典、ピアノ演奏の技術、歌唱の向上を目指す。 ・身に付けた歌唱力、合奏の成果を発表する。 ・身体表現の一つであるリズム表現を発表する。
	8	*合唱	
	9	*合奏 *身体表現	
後期中間	10	・合唱	<ul style="list-style-type: none"> ・歌う事、楽器を演奏することを通し、子どもの感性をはぐくむような音楽活動が出来る力を身に付ける。 ・演奏を発表することで、演奏者のマナーや心構えを学ぶ。
	11	・合奏	
	12		
後期期末	1	・歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間のまとめ ・音楽の基礎理論を学び、楽譜を理解する。
	2	・楽典	
	3		

評価の割合	考查点 40% 平常点 10% 実技 50%				
考查の実施	前期中間・前期期末・学年末				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト			○	○	
留意事項	集団での自己の責任を理解し、互いに協力して実習に取り組む。				

【保育】

絵画造形表現

履修学科	普通科・保育コース
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	・オリエンテーション	幼児の発達成長に即した保育実践の力を獲得するため、実習を通して想像力を身に付ける。 ・造形に必要な基礎知識を身に付ける。 ・ハサミなどの道具の使い方を知る。 ・子どもの発達段階と絵の特徴を知る。
	5	・造形の技法 *切る、貼る、書く	
	6	*折る、編む、絵画技術 他 ・子どもの描画活動	
前期期末	7	・描画、造形材料の技法 *粘土	・描画素材の体験をし、使用する道具や材料の特徴を知り、使い方を学ぶ。 ・壁面に春製作物の特徴を知り、製作する技術を身に付ける。
	8	*絵具	
	9	*クレヨン 他 ・壁面制作の技術	
後期中間	10	・立体作成（1）	・立体造形の基礎理解と実践を通して創造性や感性を育てる。 ・保育の現場で利用される造形物を作成する技術を身に付ける。
	11	・造形作品作成	
	12		
後期末	1	・立体作成（2）	・立体造形的な環境構成について学ぶ。 ・空間を想定し、吊るす、置くなどの配置条件を考える。
	2	・集団、個人製作	
	3		

考査の実施	前期中間・前期期末・学年末			
観点別の評価	主な評価内容	評価の観点		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度
	1 定期考査	○	○	
	2 授業への取り組み (実習など)	○	○	○
3 作品		○	○	
留意事項				

【教養】

未来創造基礎

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	未来を考える 社会で役立つ知識や技能を身につける。 ・文章の読み、書き	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来の進路について具体的に考える。 日常使う言葉やマナーを学ぶ。 身近な話題に興味を持ち、自分の考えを持つ姿勢を養う。 マナーについて。 他国の習慣や文化を学ぶ。 パソコンの基本操作を身につける。
	5	・マナーと礼法	
	6	・国際理解 ・パソコンの基本操作（ワープロソフト使用）	
前期 期末	7	社会で役立つ知識や技能を身につける。 ・文章の読み、書き	<ul style="list-style-type: none"> 日常使う言葉やマナーを学ぶ。 身近な話題に興味を持ち、自分の考えを持つ姿勢を養う。 マナーと礼法を身につける。 社会人に必要なマナーを身につける。 他国の習慣や文化を学ぶ。 パソコンの基本操作を身につける。
	8	・マナーと礼法	
	9	・国際理解 ・パソコンの基本操作（ワープロソフト使用）	
後期 中間	10	社会で役立つ知識や技能を身につける。 ・文章の読み、書き	<ul style="list-style-type: none"> 日常使う言葉やマナーを学ぶ。 身近な話題に興味を持ち、自分の考えを持つ姿勢を養う。 マナーについて。 他国の習慣や文化をまとめる。 パソコンの基本操作を身につける。
	11	・マナーと礼法	
	12	・国際理解 ・パソコンの基本操作（ワープロソフト使用）	
後期 期末	1	社会で役立つ知識や技能を身につける。 ・文章の読み、書き	<ul style="list-style-type: none"> 日常使う言葉やマナーを学ぶ。 身近な話題に興味を持ち、自分の考えを持つ姿勢を養う。 マナーと礼法を身につける。 社会人に必要なマナーを身につける。 他国の習慣や文化を発表する。 パソコンの基本操作を身につける。
	2	・マナーと礼法 ・国際理解 ・パソコンの基本操作（ワープロソフト使用）	

評価の割合	小テスト・レポート・課題評価70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	追試については定期考査期間中に行う。				

【教養】

未来創造応用 C

(自動車領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> 自動車にかかわる仕事と目指し方 自動車整備について 見学（ディーラー、用品販売店、整備学校） 自動車の種類と概要 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車にかかわる仕事について、実際に企業や学校を見学し、いろいろな職業があることを知る。 自動車の歴史や種類、概要についてスライド等を用いて学ぶ。
	5		
	6		
期末	7	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の基礎（エンジン、動力伝達装置、操舵・懸架装置） 実技応用（エンジンの分解・組立実習） 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の仕組みについて、スライド等を用いて学ぶ。 エンジンの分解・組立実習を行い、座学で学んだ仕組みについて確認を行う。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> 実技応用（実車を用いた仕組みの確認や日常点検） 自動車応用（HV・EV・FCV）（予防安全技術） 	<ul style="list-style-type: none"> 実車を見ながら、学んだ自動車の仕組みや日常点検等について知る。 先進技術や予防安全技術についてスライド等を用いて学ぶ。
	11		
	12		
後期末	1	<ul style="list-style-type: none"> 自動車応用（運転支援技術） 自動車総合 	<ul style="list-style-type: none"> 運転支援技術等の先進技術についてスライド等を用いて学ぶ。 一年間学んだ内容について実車を見ながら確認、実技テスト等を行う。
	2		
	3		

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 実技・小テスト	○	○	○	○	
留意事項	実習の時には制服、作業着（ジャージ）等TPOに応じた服装を指示するので守ること。毎回レポートを課すので、きちんと提出すること。				

【教養】

未来創造応用 C (フード領域)

履修学科	普通科 (未来創造コース)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	・オリエンテーション (授業内容・職業観等)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を理解し、実習を通して、職業の種類について知る。 ・日本をはじめ、世界の食べ物の歴史と文化を知る。 ・校内の畑を利用し、季節の野菜等を栽培する。
	5	・食の歴史と文化 (1)	
	6	・食の歴史と文化 (2) ・実習 (栽培を含む) ・マナーとディスプレイとコーディネート(1)	
前期期末	7	・食品・食材の特性と性質	<ul style="list-style-type: none"> ・洋食や洋菓子・和食や和菓子で使用する材料や道具、下準備などの基本的なことを理解し、実習に取り組む。
	8	・実習 (1)	
	9	・実習 (2) ・マナーとディスプレイとコーディネート(2)	
後期中間	10	・実習 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み物の入れ方やいただき方、ラッピングの仕方を理解し、身につける。 ・野菜の収穫を行い、調理へと結びつける。 ・お菓子等の陳列や接客の仕方を学び、実践・体験する。
	11	・実習 (4)	
	12	・マナーとディスプレイとコーディネート(3)	
後期期末	1	・マナーとディスプレイとコーディネート(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・陳列や接客の仕方を学び、実践・体験する。 ・実習等を通し職業について考える。
	2	・実習のまとめ ・まとめ	

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○		○	
	3 課題提出	○	○		○
4 レポート・小テスト		○		○	
留意事項					

【未来創造応用科目】

未来創造応用 C

(ものづくり領域)

履修学科	普通科未来創造コース
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など	
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・ものづくり（クラフト）の仕事とは ・（クラフト体験Ⅰ） ※年間ローテーションで陶芸・七宝・染織の3分野を体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり（クラフト）の仕事を理解する。 ・各工芸分野（陶芸・七宝・選択）の基礎技法を体験しものづくりの楽しさを味わう。
	5		
	6		
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・工房見学 仙台の伝統工芸 ・東北生活文化大学との連携Ⅰ 工房見学 ・社会に広がるものづくりのデザインについて ・クラフト体験Ⅱ ※年間ローテーションで陶芸・七宝・染織の3分野を体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに関する工房や施設を見学し、ものづくりの歴史や伝統的な技法について理解する。 ・各工芸分野（陶芸・七宝・選択）の基礎技法を習得し、課題作品を制作する。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統・現代工芸展鑑賞 ・東北生活文化大学との連携Ⅱ 体験授業 ・クラフト体験Ⅲ ※年間ローテーションで陶芸・七宝・染織の3分野を体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに関する展覧会等を見学し、ものづくりの歴史や伝統的な技法について理解する。 ・各工芸分野（陶芸・七宝・選択）の基礎技法を習得し、課題作品を制作する。
	11		
	12		
後期期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・クラフト体験Ⅳ ※年間ローテーションで陶芸・七宝・染織の3分野を体験 ・作品鑑賞と講評会 ・まとめ 現代におけるものづくり（クラフト）の役割について 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが制作した作品の鑑賞・講評からものづくりの楽しさをあらためて味わう。 ・現代におけるものづくりの役割を理解する。
	2		

評価の割合	レポート点 40%、実技・作品点 40%、平常点 20%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○		○	○
4 レポート・小テスト		○	○	○	
留意事項					

【教養】

未来創造応用 C (IT 情報)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・メモ帳でホームページを作ってみよう ～HTMLの基礎～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングの入門としてHTMLの基礎を学習し、オリジナルのホームページを作成することにより、プログラマー、WEBデザイナー、情報の発信におけるモラルやマナーを身に付ける。
	5		
	6		
前期 期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・エクセルのマクロを使って簡単なゲームを作ってみよう ～VBAプログラミングの基礎～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な表計算ソフト「エクセル」を使って基本的なプログラミングを学習し、アルゴリズムなど論理的な思考を身に付けるとともに、社会人として仕事におけるエクセルの効率的な使い方、ゲームクリエイターやアプリケーション開発について体験する。
	8		
	9		
後期 中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・HTMLを使って商品紹介ホームページを作成しよう ～情報発信の基礎～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期で作成したアプリケーションを紹介するホームページを作成することにより、商品分析、広告宣伝業務について触れ、情報を発信する際の工夫の仕方を学習する。
	11		
	12		
後期 期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使って気になるニュースを解説しよう ～プレゼンテーションの基礎～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフト「パワーポイント」を利用し、情報をいかに相手にわかりやすく伝えるか、パワーポイントの活用法を学習し、それを発表することでプレゼン能力の向上を図る。
	2		

評価の割合	レポート点 50% 実技点 40% 平常点 10%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (10点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト	○	○	○		
留意事項	プログラミングは基本的にアルファベットを使用します。				

【教養】

未来創造応用 C

(健康福祉領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション（授業内容・職業） ・ライフステージについて ・死に関する職業について ・盲導犬について 	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉」について理解する。 ・人の体や病気について知り、健康増進につながる様々な事を学ぶ。 ・各ライフステージについて学習する。
	5		
	6		
前期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・医者について ・養護教諭について ・孤児に対する仕事について ・歯医者について 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療に関する仕事に関して学習する。 ・各年代を支える仕事を知る。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士・社会福祉士・視能訓練士 ・アロマセラピーについて ・健康の定義 ・防災について 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害について学び、理解する。 ・福祉用具や福祉環境を知り、体験しながらユニバーサルについて考える。 ・香りが持つ効果について学ぶ。
	11		
	12		
後期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりとレクリエーション ・もし飯、防災食体験 ・まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の仕事について知る。 ・災害時のことについて考える。
	2		
	3		

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト		○	○	○	
留意事項	項目の内容は前後することがあります。				

【教養】

未来創造応用 C

(ミュージック領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	・オリエンテーション	興味がある分野の仕事について調べる 医療・福祉・保育などの現場で活躍している仕事、 また癒しとしての音楽の世界を学ぶ 映画の世界での音楽の役割を学び、映画音楽が作られる流れを知る。
	5	・音楽が関わっている仕事について	
	6	・音楽療法等について(外部講師)・講話と実践 ・ヴォーカル(実技) ・鑑賞 ・小テスト	
前期 期末	7	・表現すること、について(外部講師) ・講話と実践	エンタテインメントの世界からミュージックのかかわりを考える。 ミュージカル映画を通して舞台裏を学ぶ 楽典の基礎を学ぶ
	8	・鑑賞	
	9	・キーボード(実技) ・楽典 ・前期のまとめ	
後期 中間	10	・キーボード(実技)	童謡の弾き歌いや連弾を体験する。 ホール等の施設や舞台裏の見学 ミュージカルに関わる様々な仕事を学ぶ。 身近な楽器の体験をする。
	11	・ミュージカルができるまで	
	12	・ギター／ヴォーカル／ドラム(実技)	
後期 期末	1	・日本のポピュラー音楽の歴史を学ぶ	歌謡曲～J-POP までの流れを知る。
	2	・一年間のまとめ	
	3		

評価の割合	課題、レポート、小テスト、平常点を総合的に評価する				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題(実技・提出)	○	○	○	○
4 レポート、小テスト		○	○	○	
留意事項					

【教養】

未来創造応用 D

(ビューティー領域)

履修学科	普通科 (未来創造コース)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	<ul style="list-style-type: none"> カット実習 スタイリング実習 (ブロー、アイロン) セッティング技術 (三つ編み、編み込み) メイクアップ技術 (ナチュラルメイク) 	<ul style="list-style-type: none"> 理容師、美容師、ビューティー系の仕事について知る。 実習を通して技術を体験する。
	5		
	6		
前期 期末	7	<ul style="list-style-type: none"> 浴衣着付け ヘアアレンジ実習 ネイル技術 	<ul style="list-style-type: none"> 理容師、美容師、ビューティー系の仕事について知る。 実習を通して技術を体験する。
	8		
	9		
後期 中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ワインディング技術 美容の社会貢献活動 エステティック技術 (ハンドエステ) 	<ul style="list-style-type: none"> 理容師、美容師、ビューティー系の仕事について知る。 実習を通して技術を体験する。
	11		
	12		
後期 期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ヘアカラー実習 まつ毛エクステンション技術 流行メイク演習 	<ul style="list-style-type: none"> 理容師、美容師、ビューティー系の仕事について知る。 実習を通して技術を体験する。また、学んだことを今後の進路に役立てる。
	2		

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト	○	○		○	
留意事項					

【教養】

未来創造応用 D

(ファッション領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	・オリエンテーション・職業について	<ul style="list-style-type: none"> ・職種の紹介（ファッションに関わる仕事）。 ・流行の流れについて知り、ファッションへの影響を理解する。 ・販売戦略と消費者心理について知る。 ・フレームの形・色・男女別・年齢別による合わせ方を理解する。
	5	・布を作るとは	
	6	・流行とはなにか ・接客販売と消費者の心をつかむには ・メガネとアパレルについて	
前期 期末	7	・制服ができるまで関わる仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・服ができるまでの行程を理解し、制作するまで関わる仕事について知る。 ・最新の繊維を知り、汚れの種類と手入れの仕方を習得する。 ・SDGsを理解し、単に利益重視ではいけないということを学び、実践する。
	8	・繊維と汚れ・洗濯について	
	9	・SDGsとは	
後期 中間	10	・デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション誌・HP・SNSでどのように宣伝するのかを理解する。 ・衣服だけではアパレルは成り立たないということを知り、アクセサリーの種類などを知る。 ・色について知り、職業に生かすための目を養う。
	11	・アクセサリーとアパレル	
	12	・パーソナルカラーを知る	
後期 期末	1	・VMD	<ul style="list-style-type: none"> ・VMDという職種を知り、演習する。 ・まとめ
	2	・小物制作 ・ファッションの仕事のまとめ	

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【家庭科】

栄 養 (D)

履修学科	普通科・未来創造コース
履修学年	第3学年
履修形態	選 択
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前期 中間	4	・オリエンテーション（内容・実習・職業観）	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養を学ぶことで就くことが可能な職業について知る ・食事は、栄養を供給し生命の維持や健康の増進を図るための大切な行為であることを理解し、自分の食生活を振り返る。 ・食べ物がどのように栄養になるのかを知る。
	5	・私の食生活	
	6	・体内に入った食べ物の動き	
前期 期末	7	・栄養素の種類と働き	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類と働きについて知識を習得する。 ・食物の特徴、取り扱い方を学ぶ。 ・乳幼児から高齢期までの各ライフステージ毎の体の状態を理解し、その時に必要な栄養の特徴、食生活上の留意点などを知り、実習などを通して理解を深める。
	8	・食物の基礎を学ぶ	
	9	・病人食	
後期 中間	10	・乳幼児食について	<ul style="list-style-type: none"> ・食物を飲み込むメカニズムを知り、年齢や体の状態によって変化する身体機能の変化を知る。また、状態にあった食事とは何かを学ぶ。 ・栄養士としての知識をどのように生かしていくかを知る。
	11	・身体メカニズム ・栄養士の学び	
後期 期末	12	・テーブルマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・食事を提供するときの雰囲気づくりが食卓にどう影響するかを学ぶ。 ・実際のテーブルセッティングの方法などを体験する。 ・栄養士の方が働く現場についてDVDを視聴し理解を深める。
	1	・テーブルコーディネート	
	2	・栄養士の現場を知る	
	3	・まとめ	

評価の割合					
考查の実施					
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○		○	○
4 小テスト		○	○	○	
留意事項					

--	--

【教養】

未来創造応用 D

(CG デザイン領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	・オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・CG・デザインの概念を理解する。 ・CG・デザインの仕事の広がりを理解する。 ・PCの基本操作を理解する。
	5	・CG・デザインとは何か	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・職業理解 ・PC、デザインツールの基本操作 ・デザインツールを知る ・まとめ・レポート 	
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン概論 ・CG・デザインの作品鑑賞 ・Illustratorを使った制作実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの基本的なルールを学習する。 ・実際にデザイナーが使用するツールを使ってデザインプロセスを体験する。 ・3DCGソフトを使ったモデリングを体験する。
	8	・3DCG制作体験	
	9	・まとめ・レポート	
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・CG・デザインの作品鑑賞 ・PhotoShopの使い方 ・PhotoShop、Illustratorを使った制作実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にデザイナーが使用するツールを使ってデザインプロセスを体験する。 ・アニメーションの基本原理を理解し、どのように使われているかを学ぶ。
	11	・アニメーションについて	
	12		
後期期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメーション制作実習 ・CG・デザインとテクノロジー ・まとめ・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にアニメーション制作を体験する。 ・CG・デザインの分野がテクノロジーと結びつき、どのような表現ができるかについて考える。
	2		

評価の割合	課題評価点（小テスト・レポートを含む）80%、平常点20%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト		○	○	○	
留意事項	各項目の内容は前後することがあります。 実技課題の取り組みが評価に大きく影響します。				

【教養】

未来創造応用 B

(ビジネス領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション価値観について ・働くとはどんなことか ・「伝える」と「伝わる」 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の価値観と他人の価値観を知る ・自分らしい働き方は必要なのか、働く意義、働くことは楽しいことなのかを考える。 ・伝えることと伝わることの違いに気づく
	5		
	6		
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい仕事 ・自分らしい働き方 	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中にどんな仕事があるのか調べる ・他人から見た自分を知り、自分の可能性に気付く ・自分だったエどんな判断をするのか。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさ ・自分の性格 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさに気付き、どんな大人になりたいのかを考えさせる。 ・自分の性格を分析し、客観的にどんな仕事ができるのか、似合うのか考える。
	11		
	12		
後期期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとは 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション、人間関係について考える。 ・些細な変化や違いに気づくトレーニングをする。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価点（小テスト、レポート含む）70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出		○	○	○
4 レポート・小テスト		○	○	○	
留意事項					

【教養】

未来創造応用 D

(ビジネス領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション価値観について ・働くとはどんなことか ・「伝える」と「伝わる」 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の価値観と他人の価値観を知る ・自分らしい働き方は必要なのか、働く意義、働くことは楽しいことなのかを考える。 ・伝えることと伝わることの違いに気づく
	5		
	6		
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい仕事 ・自分らしい働き方 	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中にどんな仕事があるのか調べる ・他人から見た自分を知り、自分の可能性に気付く ・自分だったエどんな判断をするのか。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさ ・自分の性格 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさに気付き、どんな大人になりたいのかを考えさせる。 ・自分の性格を分析し、客観的にどんな仕事ができるのか、似合うのか考える。
	11		
	12		
後期期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとは 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション、人間関係について考える。 ・些細な変化や違いに気づくトレーニングをする。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価点（小テスト、レポート含む）70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出		○	○	○
4 レポート・小テスト		○	○	○	
留意事項					

【教養】

未来創造応用 D

(健康スポーツ領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	○オリエンテーション ・各領域説明・選択	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関わる職業・資格について知る ・メンタルトレーニングの知識を理解する。
	5	○グループワーク フューチャートーク ・スポーツに関する職業について	
	6	○メンタルトレーニング論	
前期期末	7	○スポーツ系学校見学 ・体育・スポーツ系大学専門学校の見学	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ系専門学校を訪問し、学校の特色などを理解する ・様々なスポーツ関係の大学・専門学校などの特色や内容を理解する。 ・スポーツにおける食事や栄養の大切さを学ぶ。 ・応急手当の知識を理解し、心肺蘇生法やAEDの使用の仕方などを学ぶ。
	8	○スポーツ栄養について	
	9	○応急処置・救急救命 ・評価（筆記試験）	
後期中間	10	○テーピング(座学・実技・実技試験)	<ul style="list-style-type: none"> ・テーピングの知識を理解し、技術を習得する。 ・スポーツにおけるトレーニングの知識を理解し、実際にトレーニング方法を学ぶ。 ・人間の体の仕組みや筋肉の動かし方について学び体幹トレーニングについて知識や技術を学ぶ。 ・トレーニングについての知識を学び、体幹トレーニングの実践
	11	○スポーツ系学校見学 ・体育・スポーツ系大学専門学校を説明会	
	12	○体幹トレーニング ○ダンスエクササイズ ○健康スポーツについて	
後期期末	1	○健康福祉体験	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉に関する職業、仕事内容を知る。
	2	・評価（筆記試験）について	
	3	・1年間の反省	

評価の割合	課題評価点（実技・小テスト・レポートを含む）70%、平常点 30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト		○	○	○	
留意事項					

【教 養】

看護医療探究

履修学科	普通科（進学コース看護医療系）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・看護・医療学総論 1) 看護の本質 2) 看護倫理 ・公衆衛生看護 ・成人看護学概論 ・災害看護学総論 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の定義、看護の対象、看護の機能と役割を理解する。また、医療系分野において幅広い知識を習得する。 ・看護活動の分野、看護職とその倫理を理解する。 ・医療系分野において幅広い知識を習得する。 ・応急処置から災害時における看護について、幅広く理解する。
	5		
	6		
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・小児看護学総論 ・母性看護学総論 ・臨床工学概論 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児看護の機能と意義や問題点を理解する。 ・広く女性の一生を視野に入れた性と生殖に関する健康問題とその看護について学習する。 ・生命維持管理装置などの解説を通し、臨床工学技士の仕事内容や役割を理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚学 ・視能検査機器概論 ・リハビリテーション概論 1) 理学療法 2) 作業療法 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語発達学を通し、言語聴覚士の仕事内容や役割を理解する。 ・視能検査機器などの解説を通し、視能訓練士の仕事内容や役割を理解する。 ・リハビリテーション分野の知識の習得とその現状について理解する。
	11		
学年末	12	<ul style="list-style-type: none"> ・生命倫理学 ・チーム医療論 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者と生命倫理について、時事問題などを通して理解する。 ・現代医療の問題などを含め、チーム医療の重要性を理解する。
	1		

評価の割合	考查点 60% 平常点 40%				
考查の実施	前期中間・前期期末・学年末				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト・レポート	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・看護医療系連携講座として職業理解も含めた、外部講師による模擬講義を実施。 ・演習については、真摯な姿勢で取り組み、レポートや報告書はしっかり書くこと。 				

【商業科】

課題研究（販売管理）

履修学科	商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必修選択
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・探究① マナーやコミュニケーションについて考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおけるマナーやコミュニケーション等に関する課題を発見し、その解決に向けた探究活動を行います。
	5		
	6		
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・探究② ビジネスに関する法規について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・法的側面からビジネスに関する課題を発見し、その解決に向けた探究活動を行います。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・探究③ ビジネス経済について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業における経済社会への対応等に関する課題を発見し、その解決に向けた探究活動を行います。
	11		
学年末	12	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返る学習を行います。 ・課題研究の成果についてまとめ、発表します。
	1		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	・使用教材は授業で提示します。				

【商業科】

課題研究

(商業計算応用)

履修学科	商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必修選択
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	ガイダンス	
	5	探究① ビジネス計算について考える	○ビジネス計算に関する課題を発見し、その解決に向けた探究学習を行う。
	6		
前期期末	7	探究② 外国貨幣と税金計算について考える	○外国貨幣を調べ、日本円との換算比較をまとめる。 ○税金計算（所得税・法人税）の仕組みを知り、実際に計算し探究学習を行う。
	8		
	9		
後期中間	10	探究③ 商慣習について考える	○商慣習に基づいたビジネス計算の問題点を発見し、探究学習を行う。
	11		
後期期末	12	まとめ	○ビジネス計算分野の学習項目を取り上げ、自分で作問し問題の解説を行う。 ○年金計算の仕組みを知り、実際に計算し比較分析しながら探究活動を行う。
	1		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
	4 小テスト	○	○	○	○
留意事項	○使用教材は授業で提示します。				

【商業科】

課題研究

(アカウンティング)

履修学科	商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必修選択
履修単位	4単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間 4 5 6	ガイダンス 探究① 連結会計について考える	<ul style="list-style-type: none"> 企業に関して探究する学習を行います。 会社組織についてどのようなものがあるかを調べます。 連結の会計方法にはどのようなものがあるのかを調べます。 親会社と子会社の会計取引にはどのような課題と解決策を探ります。
前期末 7 8 9	探究② 有価証券の種類について考える	<ul style="list-style-type: none"> 有価証券の種類について探究する学習を行います。 保有目的変更についての課題と解決策を探ります。
後期中間 10 11	探究③ 税効果会計について考える	<ul style="list-style-type: none"> 企業会計上の「収益・費用」と法人税法上の「益金・損金」の目的の相違について学び、その課題と解決策を探ります。
学年末 12 1	探究④ 為替換算会計について考える	<ul style="list-style-type: none"> 外貨建取引、決算時の処理および為替予約の取引についての課題と解決策を探ります。 探究学習の成果についてまとめ、発表します。

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
	4 小テスト	○	○	○	○
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 会計の知識をさらに深める探究活動を行います。 使用する教材は、授業で説明します。 				

【商業科】

課題研究

(情報表現)

履修学科	商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必修選択
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	ガイダンス 1 アルゴリズム	<ul style="list-style-type: none"> この講座で、課題を発見し解決策を探究することを学ぶ アルゴリズムの基礎（仕組み）を学ぶ 表計算ソフトウェア言語（VBA）の基礎を学ぶ （占い・電卓・じゃんけんゲーム等の作成） 身近な活動の中にある課題を発見し、その解決に向けた処理方法などを探究する
	5	2 VBA 基礎	
	6	3 探究① 学校生活の中にある問題について考える	
前期期末	6	4 VBA 応用	<ul style="list-style-type: none"> オリジナルアプリケーションの作成 ビジネスにおけるシステム開発を想定し、業務のシステム化における課題を見つけ、その解決に向けた処理方法などを探究する
	7	5 探究② ビジネスツールとしてのプログラムを考える	
	8		
	9		
後期中間	10	6 Python 基礎	<ul style="list-style-type: none"> Python の基礎を学ぶ （図形・占い・じゃんけんゲームを作成） プログラミング言語の違いによってどう違いが生じるかを見つけ、適切なシステム開発を行うための方法を探求する
	11	7 探究③ VBA と Python の違いについて考える	
学年末	12	8 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> PowerPoint の技術を学ぶ 自ら情報を収集し、分析したうえで PowerPoint にまとめ、発表を行う 課題研究の成果についてまとめ、発表を行う
	1	9 まとめ	

評価の割合	考查点 60% 平常点 40%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト (発表)	○	○	○	○	
留意事項	教材は授業の中で提示します。				

【商業科】

ビジネス経済応用

履修学科	商業科(進学ライセンスコース)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	ビジネス経済応用(実教出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1 サービス経済化とサービス産業 2 経済の国際化(1・2節)	<ul style="list-style-type: none"> 我が国における産業構造の変化及びサービス産業の現状を取り扱い、サービス経済化の動向と課題について理解させる。 国際収支の現状などを取り扱い、経済の国際化の動向と課題について理解させる。
	5		
	6		
前期期末	7	2 経済の国際化(3・4・5節) 3 金融市場と資本市場	<ul style="list-style-type: none"> 貿易、国際資本移動の現状などを取り扱い、経済の国際化の動向と課題について理解させる。 金融市場と資本市場の役割や金融取引の発達などを取り扱い、金融市場と資本市場の動向と課題について理解させる。
	8		
	9		
後期中間	10	4 企業経営	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の経済成長を支えた企業経営の特徴と変化、企業の海外進出の現状、企業の社会的責任などを取り扱い、企業を取り巻く環境の変化に対応した企業経営について理解させる。
	11		
学年末	12	5 ビジネスの創造と地域産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 起業の手續の概要、新たなビジネスの展開の現状及び身近な地域のビジネス事情を取り扱い、ビジネスの創造や地域産業の振興に取り組む能力と態度を育てる。
	1		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 学習到達度測定の一環として、以下の検定試験を一つの目標に学習します。 2月 全国商業高等学校協会主催商業経済検定(ビジネス経済B) 				

【商業科】

経済活動と法

履修学科	商業科（情報ビジネスコース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	経済活動と法（実教出版）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1 経済社会と法 2 権利・義務と財産権	<ul style="list-style-type: none"> ・経済社会における法の意義や役割、経済環境の変化と法の改正を取り扱い、秩序を維持し経済社会を発展させる上での法の重要性について理解する。 ・権利と義務、物権と債権及び知的財産権の概要を取り扱い、法に基づき適切に権利を行使し、義務を履行するための基礎的な知識を習得する。
	5		
	6		
前期期末	7	3 財産権と契約そしてその保護	<ul style="list-style-type: none"> ・売買契約や貸借契約など取引に関する法を取り扱い、法に基づき適切に取引を行うための基礎的な知識を習得する。
	8		
	9		
後期中間	10	4 企業活動に関する法	<ul style="list-style-type: none"> ・会社の種類及び株式会社や資金調達に関する法などを取り扱い、法に基づき適切に企業経営を行うための基礎的な知識を習得する。
	11		
学年末	12	5 取引に関する法 6 企業の責任と法	<ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守及び紛争の予防と解決、消費者保護、雇用に関する法を取り扱い、法に基づき責任をもって企業活動を行うための基礎的な知識を習得する。
	1		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間 ・ 前期期末 ・ 後期中間 ・ 学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【商業科】

情報デザイン

履修学科	商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必須
履修単位	情報2単位、進学3単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションでは、社会人としてのパソコンによる文書作成の重要性、必要性について学習します。 ・タイピングでは、タッチタイピングを身に付け、正確に打てるよう練習をします。 ・文書作成実習では、ビジネス文書の作成方法を学習します。
	5 タイピング実習	
	6 文書作成実習	
前期期末	7 機械・機械操作	<ul style="list-style-type: none"> ・文書作成ソフトにおける操作方法、用語を学習します。 ・ビジネス（企業）における各種文書の内容、作成に関わる知識を学習します。
	8 文書の種類・作成	
	9	
後期中間	10 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション（発表）を行ううえでの、準備・作成方法・発表の仕方を学習します。 ・文書を作成する者として知っておきたい、日本語の知識を学習します。
	11 ことばの知識	
学年末	12 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の総復習として、習得した技術・知識を確認し、個々のレベルに合わせて、問題演習を行います。
	1	
	2	
	3	

評価の割合	考查点 60% 平常点 40%				
考查の実施	前期中間・前期期末・学年末				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマンにとって必要不可欠な文書の作成方法、作成にあたって知っておきたい日本語の使い方を学習します。 ・パソコンでの実習が主となりますが、教室での座学を行うこともあります。 ・テキストについては、授業の際に提示します。 				

【商業科】

ビジネス教養

履修学科	商業科（情報ビジネスコース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第1章 職業観と企業	<ul style="list-style-type: none"> ・企業を構成する社員一人ひとりに必要とされる資質について学習する。 ・仕事をする上で目標をもつ重要性と業務改善の必要性について学習する。 ・社会人として必要な社会常識を身につける。 ・職場を良好にするコミュニケーションについて学習する。
	5	第2章 仕事の進め方	
	6	第3章 一般知識	
	6	第4章 職場の人間関係	
前期期末	7	第5章 社会人としての話し方	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスで使う敬語と相互理解を深めるための効果的な話し方について学習する。 ・ビジネス文書の種類や書き方などのルールを身につける。
	8	第6章 ビジネス文書	
	9	第6章 ビジネス文書	
後期中間	10	第7章 職場のマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の一員として仕事がスムーズに進むために必要なマナーを身につける。 ・接遇をする立場、訪問する立場のマナーについて学習する。 ・ビジネスコミュニケーションとしての電話応対や携帯電話のマナーを学習する。
	11	第8章 接遇マナー	
	11	第9章 電話応対	
学年末	12	第10章 交際業務	<ul style="list-style-type: none"> ・社内外や企業同士との交流を深める重要性を学習する。 ・会議に出席する心構えと開催する際の手順を学習する。 ・ビジネスにおいて重要な郵便知識を学ぶ。 ・効率の良い文書整理や保管、秘文書の扱いについて学習する。
	1	第11章 会議	
	1	第12章 郵便の知識	
	1	第13章 ファイリング	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の定着度を測るために検定を受験することがあります。 ・テキストは授業の時に提示します。 				

【商業科】

簿記会計研究

履修学科	商業科（進学ライセンスコース）
履修学年	第3学年
履修形態	選択
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	各種財務諸表 株主資本変動計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生で学習したものの復習をします。 ・財務諸表分析では、有価証券報告書等を使用した実践を行い、実教法や百分比法、趨勢法などを用い分析を行います。
	5	財務諸表分析	
	6	ソフトウェア取引 リース会計	
前期期末	7	デリバティブ取引 デリバティブ デリバティブ取引における債権債務	<ul style="list-style-type: none"> ・金融商品の確認 ・金融商品から派生して生まれた取引や、その会計処理について学習します。
	8	先物取引 契約時・決算時・決済時の会計処理	
	9	スワップ取引 契約時・決算時・決済時の会計処理 オプション取引 契約時・決算時の会計処理	
後期中間	10	ヘッジ会計 繰延ヘッジ	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が活動を営む中で起こるであろう将来のリスクを少なくしたり、回避するための会計処理について学習します。
	11	時価ヘッジ	
学年末	12	キャッシュフロー会計 キャッシュフロー計算書の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・お金（キャッシュ）の流れ（フロー）を計算するための財務諸表です。 ・キャッシュフロー計算書は、今までに学習した貸借対照表や損益計算書と密接に関係しています。
	1	キャッシュフロー計算書の作成目的 対象とする資金の範囲 キャッシュフロー計算書の区分	

評価の割合	考查点 70 %	平常点 30 %			
考查の実施	前期中間 ・ 前期期末 ・ 後期中間 ・ 学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生の学習を振り返りながら、ゆっくり進めていきます。 ・より高度な会計知識の学習を通し、高い実践力を身に付けたい人の履修をお願いします。 				

【商業科】

情報研究

履修学科	商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必修(情ビ)・選択(進ラ)
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1 テクノロジ系 (IT 技術)	・ I T の基礎となる数学から P C の仕組み、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベースまで、 I T 技術に関する知識を習得する。
	5		
	6		
前期期末	7	2 マネジメント系 (IT 管理)	・ システムやソフトウェア開発プロジェクトのマネジメント方法について、開発の手法や流れ、プロジェクトの管理方法、システム監査の概要や流れなどの知識を習得する。
	8		
	9		
後期中間	10	3 ストラテジ系 (経営全般)	・ 企業活動や法務、経営、企業のシステム戦略について、経営の基本から知的財産権、個人情報保護などの法務や、経営戦略やマーケティングに関する知識を習得する。
	11		
学年末	12	4 総合演習	・ I T パスポート試験の問題演習を通して知識の定着を図り、 I T を活用する際に備えておくべき I T に関する基礎的・基本的な知識と態度を身に付ける。
	1		

評価の割合	考查点 60%	平常点 40%			
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業クラスは習熟度別に編成します。 ・ 学習到達度測定の一環として、以下の検定試験を一つの目標に学習します。 I T パスポート試験 (国家資格) 9月、1月 全国商業高等学校協会主催 情報処理検定 				

【美術科】

クラフト

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	選択 ※素描探究
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	〈オリエンテーション〉 陶芸・七宝・染織について	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸・七宝・染織の中から1種類選択 ・各工芸分野の基礎技法を経験する。
	5	〈基礎演習Ⅰ〉 陶芸基礎：手びねり技法 等	
	6	七宝基礎：フリット・マーブル技法 等 染織基礎：絞り染め技法 等	
前期期末	7	〈基礎演習Ⅱ〉 陶芸基礎：電動ろくろ技法 等	<ul style="list-style-type: none"> ・各工芸分野の基礎技法を習得し、課題作品を制作する。
	8	七宝基礎：銀箔七宝／かきわり七宝 等	
	9	染織基礎：ステンシル・糊染め技法 等	
後期中間	10	〈応用演習Ⅱ〉 陶芸応用：手びねり技法 電動ろくろ技法 等 七宝応用：フリット・マーブル技法 銀箔七宝／かきわり七宝 等 染織応用：絞り染め技法 ステンシル・糊染め技法 等	<ul style="list-style-type: none"> ・各工芸分野の応用技法を追究し、オリジナル作品を制作し発表する。
	11		
	12		
後期期末	1		<ul style="list-style-type: none"> ・作品の鑑賞・講評から工芸分野の理解を深め、作品等をポートフォリオにまとめる。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価70% 平常点30%				
考査の実施	なし				
平常点の評価 (30%)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 制作ノート	○	○	○	○	
留意事項					

【美術科】

美術史

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	〈西洋美術史〉 ルネサンス以前 ルネサンス バロック・ロココ	毎回いくつかの作品を取り上げ、鑑賞を通して西洋美術史についての基本知識を身につける。専門用語、ジャンルや時代区分を知り、各時代の代表的な作品の特徴を理解する。
	5		
	6		
前期 期末	7	〈西洋美術史〉 ロマン主義～印象派 世紀末美術 20世紀以降の美術	毎回いくつかの作品を取り上げ、鑑賞を通して西洋美術史についての基本知識を身につける。専門用語、ジャンルや時代区分を知り、各時代の代表的な作品の特徴を理解する。 また、各自あるアーティストについて調べてまとめることで理解を深める。
	8		
	9		
後期 中間	10	〈日本美術史〉 先史・古墳時代の美術 古代美術（飛鳥時代～平安時代） 中世美術（鎌倉時代～室町時代） 近世美術（桃山時代～江戸時代）	毎回いくつかの作品を取り上げ、鑑賞を通して日本美術史についての基本知識を身につける。専門用語、ジャンルや時代区分を知り、各時代の代表的な作品の特徴を理解する。
	11		
	12		
後期 期末	1	〈日本美術史〉 近代と現代の美術（明治時代～昭和時代） 戦後の美術 現代美術	毎回いくつかの作品を取り上げ、鑑賞を通して日本美術史についての基本知識を身につける。専門用語、ジャンルや時代区分を知り、各時代の代表的な作品の特徴を理解する。 また、各自あるアーティストについて調べてまとめることで理解を深める。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価80% 平常点20%				
考査の実施	なし				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
留意事項					

【美術科】

素描

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	〈静物デッサンⅠ〉 静物デッサン 形・明暗・材質・空間の理解	<ul style="list-style-type: none"> 基本形態の理解を深める。 形や空間を正確に描写し、明暗による立体的な表現を学ぶ。 与えられたモチーフを構成し、時間内にデッサンを仕上げる。
	5	〈構成デッサン〉	
	6	静物	
前期期末	7	〈石膏デッサン〉 石膏像（胸像） 形・明暗・空間の理解	<ul style="list-style-type: none"> 石膏像を注意深く観察し、構図や形、明暗、材質といった要素を総合的に学ぶ。 与えられたモチーフを構成し、時間内にデッサンを仕上げる。
	8	〈構成デッサン〉	
	9	自画像	
後期中間	10	〈静物デッサンⅡ〉 静物デッサン 形・明暗・材質・空間の理解	<ul style="list-style-type: none"> 様々なモチーフの形体や関係性、空間などを意識しながら描く。 材質の違うモチーフをよく観察してデッサンを仕上げる。
	11		
	12		
後期期末	1	〈人物デッサン〉 人体の理解 構図・プロポーションの理解	<ul style="list-style-type: none"> 人物モデルをスケッチすることで人体の構造の理解を深める。 構図やプロポーション、動きなどを意識しながら描く。 与えられたモチーフを構成し、時間内にデッサンを仕上げる。
	2	〈構成デッサン〉	
	3	手	

評価の割合	課題評価（考査含む）80% 平常点20%				
考査の実施	年3回実施 前期中間・前期期末・後期期末				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
留意事項					

【美術科】

素描探究

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	選択 ※クラフトとの選択
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	〈素描演習Ⅰ〉※各自の課題を設定 石膏デッサン 静物デッサン 静物着彩	<ul style="list-style-type: none"> 基本形態の理解を深める。 形や空間を正確に描写し、明暗による立体的な表現を学ぶ。
	5		
	6		
前期末	7	〈素描演習Ⅱ〉※各自の課題を設定 石膏デッサン 静物デッサン 静物着彩	<ul style="list-style-type: none"> 構図や形、明暗、材質といった要素を総合的に学ぶ。 与えられたモチーフを構成し、時間内にデッサンを仕上げる。
	8		
	9		
後期中間	10	〈素描演習Ⅲ〉※各自の課題を設定 石膏デッサン 構成デッサン 静物着彩	<ul style="list-style-type: none"> 様々なモチーフの形体や関係性、空間などを意識しながら描く。 材質の違うモチーフをよく観察してデッサンを仕上げる。
	11		
	12		
後期末	1	〈素描演習Ⅳ〉※各自の課題を設定 石膏デッサン 構成デッサン 静物着彩	<ul style="list-style-type: none"> 構図やプロポーション、動きなどを意識しながら描く。 与えられたモチーフを構成し、時間内にデッサンを仕上げる。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価（考査含む）80% 平常点20%				
考査の実施	なし				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
留意事項					

【美術科】

グラフィック応用

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	I.デジタルコンテンツ制作の仕事 ・デザイナーの仕事 ・Webデザインと制作ワークフロー ・コンセプトとターゲット ・コンテンツプランニング ・デザインカンパ、企画書制作	デジタルコンテンツ制作の現場における実際のワークフローに準じ、仕事の内容や注意点などを理解する。 また、Adobe Illustrator、Photoshop等のソフトウェアを使用し、コンテンツ企画～デザイン～プレゼンテーションまでを行う。
	5		
	6		
前期末	7	II.Webデザイン&制作(1) ・HTML、CSS、JavaScriptについて ・Dreamweaverの基本操作 ・HTML/CSSマークアップ ・画像処理 / スライス ・Webページ制作(1)	Adobe Dreamweaverを使用し、HTML、CSSの基礎を学びながら、Webページの制作を行う。
	8		
	9		
後期中間	10	III.Webデザイン&制作(2) ・Webページ制作(2) ・JavaScriptを使った動きの追加 ・FTPとWebサーバー ・CMS	IIで制作したWebサイトを更に発展させ、JavaScriptを用いた動きのあるサイトを制作する。 また、FTPを使ったWebサイトの公開や、CMSの仕組みを理解する。
	11		
	12		
後期末	1	IV.デジタルコンテンツの広がり ・デジタルコンテンツ体験	ワークショップとして様々なコンテンツを体験し、コンピュータ・グラフィックとデジタルコンテンツがどのように関わり、社会と結びついているかを総合的に学ぶ。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価点 80% 平常点 20%				
考査の実施	実施しない				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
留意事項	考査を行わず、課題評価と平常点で評価を行います。授業にしっかり取り組み、課題は必ず提出するようにしてください、				

【美術科】

専攻実習応用

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	応用演習Ⅰ ※領域を選択 美術領域応用（洋画・日本画・版画） デザイン領域応用（デザイン応用Ⅰ） 総合造形領域応用（塑像応用Ⅰ） 映像領域応用	<ul style="list-style-type: none"> 洋画・日本画・版画技法や表現方法を研究し、課題作品を制作します。 デザイン領域における課題作品を制作し、プレゼンテーション発表を体験します。 立体に対する観察力を深め基礎的な造形力と創造的な感覚を養います。 映像作品を制作し、プレゼンテーション発表します。
	5		
	6		
前期期末	7	応用演習Ⅱ ※領域を選択 美術領域応用（洋画・日本画・版画） デザイン領域応用（デザイン応用Ⅱ） 総合造形領域応用（塑像応用Ⅱ） 映像領域応用	<ul style="list-style-type: none"> 洋画・日本画・版画技法や表現方法を研究し、課題作品を制作します。 デザイン領域における課題作品を制作し、プレゼンテーション発表を体験します。 立体に対する観察力を深め基礎的な造形力と創造的な感覚を養います。 映像作品を制作し、プレゼンテーション発表します。
	8		
	9		
後期中間	10	応用演習Ⅲ ※領域を選択 〈課題研究①〉 美術領域の技法研究 デザイン領域の技法研究 総合造形領域の技法研究 映像領域の技法研究	<ul style="list-style-type: none"> 美術領域、デザイン領域、総合造形領域、映像領域における表現・技法等を研究し、独自の表現を迫ります。 作品を卒業制作展で発表します。
	11		
	12		
後期期末	1	応用演習Ⅳ ※領域を選択 〈課題研究②〉 卒業制作展まとめ ポートフォリオの完成	<ul style="list-style-type: none"> 作品の鑑賞・講評から各専攻実習を振り返ります。 3年間の作品及び活動記録をポートフォリオとして完成させます。 作品を卒業制作展で発表します。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価（考査含む）80% 平常点20%				
考査の実施	年3回実施 前期中間・前期期末・後期期末				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
留意事項					

総合的な探究の時間

テーマ「進路探究」

履修学科	普通科, 美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	1単位
テキスト	GATEWAY (デジタル教材) など

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4 5 6	○進路学習<就職>	・学年進路ガイダンス、学年面接指導、就職講習
		○進路学習<進学>	・学年進路ガイダンス、学年面接指導、クラス面接指導
		○表現学習<進学>	・【使用教材】ステップ基礎小論文（STEP1～3の中から1つ選ぶ）+小論文チャレンジノート
		○探究学習<進学>	・探究課題の作成【使用教材】GATEWAY
		○探究学習（美デ科）	・卒展に向けてポートフォリオ提示しプレゼン（初期審査）
前期 期末	7 8 9	○進路学習<就職>	・就職講習
		○表現学習<進学>	・【使用教材】ステップ基礎小論文（STEP1～3の中から1つ選ぶ）+小論文チャレンジノート
		○探究学習<進学>	・探究課題の作成【使用教材】GATEWAY
		○探究学習（美デ科）	・卒展に向けてポートフォリオ提示しプレゼン（中間審査）
後期 中間	10 11 12	○探究学習<進学>	・探究のまとめ、発表等
		○探究学習（美デ科）	・卒展3年間の成果をポートフォリオ提示し、作品展示を使用しプレゼン最終審査
後期 期末	1 2 3	○1年間のまとめ	・総合的な探究アンケート

評価の割合	所見による評価			
考査の実施	なし			
評価	主な評価内容	評価の観点		
		知識・理解	思考力・判断力 表現力等	主体的に学習に 取り組む態度
	1 授業態度	○	○	○
	2 出席状況			○
	3 探究学習の成果	○	○	○
4 表現学習の成果	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「継続は力なり」です。授業を休まないように心掛けてください。 ・学習計画は、進路状況によって実施時期や内容を変更する場合があります。 			